

---

## 東海地区のロードレースシリーズ「iRC TIRE Presents KINAN AACACUP」第9戦 シリーズランキングを決める激戦 秋晴れにも恵まれ賑わう会場

---

東海エリアを転戦しながら自転車ロードレースの普及とレベルアップを目指すレースシリーズ「AACACUP」(主催:合同会社 AACACUP、代表:加藤康則)は、発足11年目となる2024年シリーズの第9戦を11月17日に実施いたしました。以下に、当日の様子を報告いたします。

### 全8カテゴリーに223名が出走

「AACACUP」はiRC TIRE(井上ゴム工業)さま、株式会社キナンさまによるスポンサーのもと、今年も国営木曾三川公園 長良川サービスセンター(岐阜県海津市)を主会場として、全10戦を開催いたします。

各選手の体力レベルやスキル、年代、目的に応じて出走カテゴリーを選択することができ、シリーズ全体を通して自身の経験を磨きながら徐々にカテゴリーを上げて、ゆくゆくは最上位カテゴリーの1-1クラスへの参戦を目指す、といったことも可能になります。

主会場である長良川サービスセンターで開催された今回第9戦では、8つのレースカテゴリーに総勢223名が出走。1-4クラス以外の上位カテゴリーは、今回が2024年シリーズにおける最終戦となり、シリーズランキングの行方を決める熱いレースにもなりました。



## 最上位カテゴリーの 1-1 クラスでは高村明希斗選手が今シリーズ 2 勝目

メインイベントである 1-1 クラスは、1 周 5 km のコースを時計回りに 16 周回する 80 km にて、67 名の選手により争われ、高村明希斗選手 (BREZZA-KAMIHAGI) が制しました。

なかなか冬の訪れを感じられない今年の 11 月中旬。青空もみえ気温 20℃弱となる暖かい気温の中選手たちはスタートしました。レースは、1 周目から設定される周回賞のタイミングなどをきっかけに、数名ずつのアタックが何度も発生しましたが、どれも 10 秒程のタイム差にとどまり、すぐに吸収される展開が終盤まで続きました。残り 2 周で有力な選手を含む 5 名が集団から抜け出し。逃げ切りを目指し綺麗に強調体制に入った 5 名と、それを全力で追うメイン集団との攻防が続く中、ラスト 500m ほどで高木礼選手 (Nerebani) が逃げ集団から単独で飛び出しました。

そのまま単独逃げ切りかと思われましたが、ハイスピードで迫るメイン集団の中から勢いよく飛び出した高村選手が、他の逃げメンバーをパスしながら高木選手を猛追。最終コーナーの立ち上がりで高木選手をかわし、見事先頭でフィニッシュしました。高村選手は当シリーズ 2 勝目となり、アマチュア選手ながらシリーズランキングを一気にランクアップさせる結果となりました。

プロ・アマ問わず、スタートから最終盤まで逃げ切りを狙う積極的な動きが目立った 1-1 クラス最終戦となりました。

そして、今回をもって 2024 年シリーズランキングの上位選手が確定。ホストチームであるキナンレーシングの宮崎泰史選手が 1,280 ポイントで見事シリーズランキング 1 位となりました。また、ランキング上位のほとんどを国内プロチームの選手らが占める中、今回優勝した高村選手が 1,024 ポイントでランキング 2 位となりました。



ロード・トゥ・ラヴニール（ROAD TO L'AVENIR : RTA）との連携により、選手の“自走力”強化や若手発掘・育成を目的として 2024 年シリーズから行われる個人タイムトライアルを、この第9戦でも実施いたしました。

個人タイムトライアルとは、集団で一斉スタートするロードレースとは異なり、それぞれの選手が単独でスタートし決められた距離のタイムを競う種目であり、選手個人の“自走力”が試されます。当シリーズにおいては、1周 5km のコースを 3 周回する 15km で競われ、今回は一般カテゴリーの9名の選手が出走しました。

風は穏やかでタイムトライアル日和となった朝イチの当レース。1番出走となった Sandu Ionut 選手（LT United Cycling Team）が1周目からハイペースを刻み、30秒毎にスタートする2番以降の出走選手とのタイム差をみるみると広げていきました。最終的には2位の選手と1分半以上もの差をつけるタイムで見事優勝を飾りました。

同コース・同距離にて、当シリーズ4度目の実施となったこの個人タイムトライアル。これまで何度も参加している選手も多く、シリーズを通して自身の実力やその変化を測る貴重な機会ともなりました。



## 下部カテゴリーも白熱

1-1 クラスやタイムトライアルにとどまらず、そのほか下部カテゴリーでも熱い戦いが繰り広げられました。「ポストトップカテゴリー」にあたる 1-2 クラスは 40km で争われ、道上陽翔選手（名古屋高校自転車競技部）が優勝。レース序盤からアタック合戦で消耗し合った集団の中から、道上選手がラスト 500m ほどでタイミングよく単独でアタック。集団も猛追しましたが、道上選手がそのまま余裕を持って先頭でフィニッシュする形となりました。

17.5km で争われた 1-3 クラスでは西尾尚馬選手（名古屋高校自転車競技部）が、12.5km で争われた 1-4 クラスでは中村海斗選手がそれぞれ優勝。どのカテゴリーも、若い年代の選手らの活躍が目立つ結果となりました。また、20km で争われた U15 クラスを佐野将麻選手（TEAM SPORTSKID ZYYX）が、U17 クラスを井伊陸月選手（ORCA CYCLING TEAM）が、さらに 2.5km で争われた Kids(自由)を佐野真麻選手（TEAM SPORTSKID ZYYX）がそれぞれ制しています。

## KINAN Racing Team による各練習会、多彩な出展ブースも盛り上げに寄与

イベントホストである KINAN Racing Team のメンバーが講師を務めるキッズスクールが今回も実施されました。

また会場には、iRC TIRE 井上ゴム工業株式会社さま、hardLass コーティングの FUSION さまにブースを出展いただきました。参加者や観戦に訪れた人々に各社製品の紹介や取り組みを PR。爽やかな秋晴れにも恵まれ、オフシーズンにも関わらず多くの選手や観客が押し寄せ、会場は賑わいをみせました。



## 2024年シリーズ最終戦となる次回第10戦は12月22日（日）

当シリーズ最終戦となる第10戦は、12月22日（日）に愛・地球博記念公園サイクリングコースで実施いたします。

※「クリスマスヴェロフェスタ in モリコロパーク」との併催となります。

レースカテゴリーは1-4、Kidsの2カテゴリー。参加費は、3000円（当日エントリーは4000円）。なお、Kidsに関しては無料にて参加が可能です。

エントリー締切は11月30日（土）となります。申込方法やその他詳細はシリーズ公式ウェブサイトをご覧ください。

## 最短7戦目で参加費が無料に！ iRC TIRE ブース特典

iRC TIRE Presents KINAN AACA CUP のiRC TIRE ブースでは、新型クリンチャータイヤ「アスピーテプロ」をお試しいただけます。貸し出しは、タイヤ付きホイールで。そして貸し出しは試走のみならず、当日のレースでも使用可能（これは iRC TIRE Presents KINAN AACA CUP のみ！）。よりリアルな状況下でお試しいただけます。このレンタルサービスは先着5名様限定。詳しくは、各戦当日にiRC TIRE ブースまで。この機会に新型アスピーテプロを体感するチャンス！

さらには、iRC TIRE ユーザーさま限定で、ご参加当日のレーススタート15分前までにiRC TIRE を装着したレースバイクとともにiRC ブースにお越しいただき、出走日数のカウントをしていただくと、7回目（最短で第7戦＝ダブルエントリーは除く）の参加費が無料に！

2024年シリーズはぜひiRC TIRE をレース出走バイクに装着して、iRC TIRE ブースへお越しください！



## 第9戦リザルト

### ・1-1

1. 高村 明希斗 (BREZZA-KAMIHAGI)
2. 高木 礼 (Nerebani)
3. 森下 圭祐
4. 至田 恵人 (イナーメ信濃山形)
5. 川崎 嘉久 (Nerebani)

### ・1-2

1. 道上 陽翔 (名古屋高校自転車競技部)
2. 西尾 尚馬 (BREZZA-KAMIHAGI)
3. 矢田 健太郎
4. 四方 麻旺 (ORCA CYCLING TEAM)
5. 木村 直司 (カンピオーネ)

### ・1-3

1. 西尾 尚馬 (名古屋高校自転車競技部)
2. 江川 裕和 (カンピオーネ)
3. 谷口 大悟 (ORCA CYCLING SCHOOL)
4. 青山 隆之介
5. 黒部 史彦 (カンピオーネ)

### ・1-4

1. 中村 海斗
2. 春日 一秀
3. 杉田 侑哉
4. 竹原 幾斗 (GRF racing)
5. 山本 大貴 (MAX SPEED97)

### ・U17

1. 井伊 陸月 (ORCA CYCLING TEAM)
2. 三宅 雄翔 (KINAN Racing Team MIE Junior)
3. 糟谷 楓空 (ボンシャンス)
4. 井之上 源次 (朝明高校)

・ U15

1. 佐野 将麻 (TEAM SPORTSKID ZYYX)
2. 倉谷 希輝 (ORCA CYCLING TEAM)
3. 越知 映成 (KINAN Racing Team MIE junior)
4. 吉田 宗至 (ORCA CYCLING SCHOOL)
5. 小笠原 悠馬

・ Kids (自由)

1. 佐野 真麻 (TEAM SPORTSKID ZYYX)
2. 小島 爽太
3. 青井 瑛隼 (KINAN Racing Team MIE Junior)
4. 八坂 大輔
5. 酒井 玲空 (ORCA CYCLING TEAM)

個人タイムトライアル

・ 一般

1. Sandu Ionut (LT United Cycling Team) 20 分 08 秒
2. 高部 心 (BREZZA-KAMIHAGI) 21 分 48 秒
3. 古金 蒼汰 (TeamUKYO Reve) 21 分 50 秒
4. 高村 明希斗 (BREZZA-KAMIHAGI) 21 分 53 秒
5. 大澤 昌輝 (BREZZA-KAMIHAGI) 22 分 36 秒

**2024 年シリーズランキング**

1. 宮崎 泰史 (キナンレーシング) 1,028 ポイント
2. 高村 明希斗 (BREZZA-KAMIHAGI) 1,024 ポイント
3. 初川 弘浩 (愛三工業レーシング) 544 ポイント
4. ホセ ビセンテ トリビオ アルコレア (マトリックスポウータグ) 512 ポイント
4. 寺田 吉騎 (シマノレーシング) 512 ポイント



**iRC TIRE Presents KINAN AACA CUP 概要**

主催：合同会社 AACA

代表：加藤康則

WEB： <https://www.coupedeaaca.com/>



---

本件に関するお問い合わせ：

合同会社 AACA [coupedeaaca@gmail.com](mailto:coupedeaaca@gmail.com)

---

